

平成18年度 決算報告書

国立大学法人一橋大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,824	5,833	9	(注1)
施設整備費補助金	38	35	△ 3	(注2)
補助金等収入	71	150	79	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	27	-	
自己収入	3,877	3,881	4	
授業料、入学料及び検定料収入	3,692	3,655	△ 37	(注4)
雑収入	185	226	41	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	574	1,054	480	(注6)
計	10,411	10,980	569	
支出				
業務費	7,223	7,051	△ 172	(注7)
教育研究経費	7,223	7,051	△ 172	
一般管理費	2,478	2,310	△ 168	(注7)
施設整備費	65	62	△ 3	(注8)
補助金等	71	150	79	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	574	756	182	
計	10,411	10,329	△ 82	
収入-支出	-	651	651	

○予算と決算の差異について

(注1) 予算積算にない前年度からの繰越により、9百万円多額となっています。

(注2) 平成17年度補正予算によるアスベスト対策事業の一部を平成17年度中に執行したため、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。

(注3) 国からの補助金等収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が79百万円多額となっています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、休学者数の増により予算額に比して決算額が37百万円少額となっています。

(注5) 雑収入については、予算積算に含まれていない雑収入の増により、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については主として寄附金の獲得に努めたこと。また補助金獲得の増に伴い間接経費の受入額も増となり、予算額に比して決算額が480百万円多額となっています。

(注7) 業務費については、教育研究経費、一般管理費において経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が340百万円少額となっています。

(注8) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。

(注9) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が79百万円多額となっています。